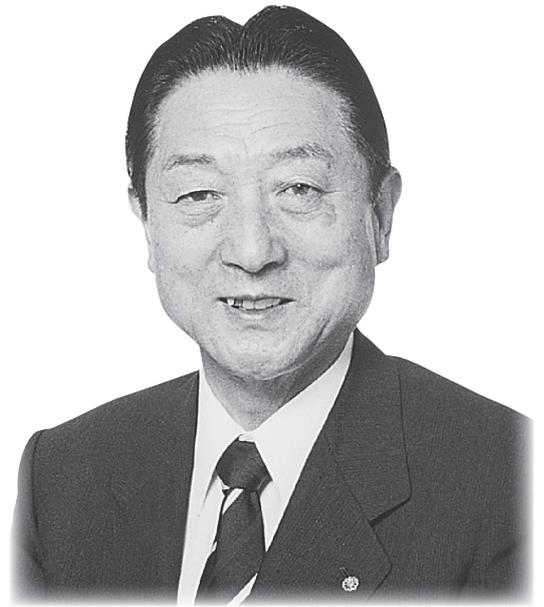


迎春



年頭にあたって

皆 さま、あけましておめでとうございます。

年もあらたまり、万物悉く装いも新たに、新しい年を迎えることができました。心からお祝い申し上げます。

町政を担当して以来、皆さまの温かいご支援をいただきながら「潤いと安らぎのあるまち」を目標に鋭意努力を続けてまいりました。これも偏りに皆さまのお力添えの賜であり、心から感謝申し上げます。

昨年は安倍内閣による経済回復政策「三本の矢」により2四半期連続で年率三%以上の経済成長となり、主要先進国では最も高い成長となりました。有効求人倍率も〇・八三倍から〇・九五倍まで上昇いたしました。

しかし、景気回復の実感は、いまだ全国津々浦々まで届いてはいません。われわれ地方が実感できるまでの景気回復

を切に希望するところですが、安倍内閣は、本年四月からの消費税率三%引き上げを予定通り実行することを決断いたしました。

引き上げに当たっては、経済の活性化に向けて、総合的な施策を実施する事としていますが、いまだ景気回復の恩恵を享受するに至っていない地方においては、上向きつつある景気が冷え込むことが危惧されます。

さて、環太平洋経済連携協定、いわゆる「TPP」問題については、昨年末までの妥結には至らず、また、コメを含めた重要五項目の関税維持は困難な状況との新聞報道がなされていますが、農業、とりわけ「コメ」を基幹産業とする当町にとりましては最も懸念される事案であります。

政府は、海外から輸入される安いコメに対抗するため、

農家を集約化してコスト競争力を付ける必要があることから、五十年近く続けてきたコメの生産調整、いわゆる「減反政策」について、平成三十年年度を目途に廃止する方向で検討を進めています。しかし条件不利地域は集約化の対象にならない可能性があり、結果として耕作放棄地が拡大し農地の荒廃が進んでいくことが懸念されます。

農業は町の基幹産業であると同時に、国土保全や水源涵養、集落機能など多面的な機能を有しており、また食糧自給率とも直結する問題であることから関係機関と連携しながら取り組みを進めていかなければなりません。

当町においては、九月十六日に発生した台風十八号による岩木川の増水により、これまでかかってない水位を観測し、管内堤防の複数の箇所



漏水し、役場庁舎裏側の堤防では越水いたしました。

町消防団員の懸命な水防活動が奏功し、人的被害、住家被害には至りませんでした。が、一部地域では避難所への避難を余儀なくされるなど、緊迫した状況となりました。

町では町議会議員と一緒に国・県に対し岩木川堤防の改修を要望してまいりましたが、これが認められ管内堤防の改修が決定したところでございます。

河川敷内のリンゴ園地では、それまで手塩にかけて育ててきたリンゴが収穫を間近に控えて樹幹浸水するなど壊

滅的な打撃を受けました。

被害を受けられたリンゴ農家の皆さまには、衷心よりお見舞い申し上げます。

町では、廃棄リンゴ処分費用や樹幹浸水りんご園地の防除対策費用への支援、さらには再生産に向けた支援措置を講ずるため、臨時議会を開催して関連予算を議決するなど迅速な対応をしてまいりましたが、農家の皆さんが生業として安心して農業に取り組めるよう今後ともできる限りの支援をしてまいる所存であります。

また、昨年は県民体育大会において八年連続十九回目の総合優勝を成し遂げることができました。まさに青森県一スポーツが強い鶴田町として、金字塔を打ち立ててくださいました。この快挙は、選手の手皆さんが死闘の戦いで町の名譽をかけて一致団結して成し得たものであり、体育協会ならびに関係各位に對しまして心より敬意を表する次第であります。

さて、本年は昨年来検討を



進めてまいりました防災行政用無線の整備に着手する運びとなりました。町内各地域に放送設備を設置することにより町民の皆さまに速やかに情報を伝達することが可能となります。

昨今の気象状況を見ますと、昨年七月に発生した島根県および山口県の大津波被害や東京都大島町に甚大な被害をもたらした台風二十六号をはじめ、豪雨や、台風、竜巻など、異常ともいえるものがありますが、私たちの生活は常に災害と隣り合わせであるという認識のもと、災害に強い

まちづくりを進めていかなければなりません。災害時ににおける的確な情報伝達手段の確保に努めてまいります。

また、かねてから進めてまいりましたつがる西北五広域連合「つがる総合病院」の建設が去る十二月十日をもって竣工し、本年四月から開院する運びとなりました。本県は、全国一の医師不足県であり、その中で一番の医師不足は西北五地域であることから、医師確保対策を講じつつ、地域のサテライト病院ならびに診療所との役割分担をしながら、町民の皆さまが安心して医療を受けられる環境整備を行い、地域医療の充実に貢献できるよう努めてまいります。

平成二十五年の世相を表す「今年の漢字」に「輪」が選ばれ、京都清水寺の森清範貫主が特大の越前和紙に揮毫し、披露しました。

二〇二〇年東京五輪の開催決定や富士山の世界文化遺産登録が官民のチームワークで実現したこと、国内外で起きた災害からの復興に支援の輪

が広がったことが理由に挙げられていますが、奇しくも当町で昨年策定いたしました第5次鶴田町総合計画のテーマも「わ(和・輪・私)の町 ふるさとみらい計画」であります。当町にとりましてこの「輪」に肖り、町民みんなの手を取り合い「一つの輪」になって総合計画の基本目標である「早寝早起き朝ごはん健康で共に支え合う住みよいまちづくり」が実現できるよう祈念いたします。

本年も、町民の皆さまとともに知恵を出し合い、安全で安心して暮らせるよう、小さなながらもきらりと光るまちづくりに向けて、誠心誠意努力してまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、皆さまにとりまして健やかで幸多い年でありますようお願い申し上げます。新年のあいさつといたします。

鶴田町長

中野啓司



おもてなし の心で

新 年あけましておめでと
うございます。

町民の皆さまには、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成二十六年の年頭に当たり町議会を代表して、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

まず、昨年を振り返ってみますと、

おお雪で明けた平成二十五年

もうすぐ、収穫のときに襲った台風十八号

てい防決壊の危機に発せられた、避難勧告

なし崩しにされる農産物への関税

しん配の種が尽きません

そんな「おもてなし」の平成二十五年であつたと思います。

そのような中で議会としては大雪のために除雪の予算が底をつき、国へ要望活動を行いました。

また、九月十六日に発生した台風十八号による岩木川の

増水により壊滅的な被害を受けたリング農家のために県

へ、そして管内堤防の決壊のおそれがあるということ、

国土交通省東北地方整備局青森河川国道事務所にそれぞれ

要望活動を行いました。

農産物輸入自由化に危機感が高まり、内閣総理大臣に対しTPP参加反対の意見書を

提出し、安全安心な町づくり

に町と一体となつて動き回った一年でございました。

一方で、

・つがる西北五広域連合鶴田診療所の開所

・マスコットキャラクターつるりんの誕生

・プロバスケットボールチーム青森ワッツヘッドコーチに当町出身の棟方公寿さんの就任

・日野原重明先生の講演会

・戸籍の電算化業務開始

・ムエタイWPMF世界スーパーバンタム級王者一戸総太選手

・県民体育大会町村の部で八連覇、十九回目の総合優勝

など、当町にとって嬉しい話

題が満載でした。

良いことはいくらでも受けたいものですが、悪いものは出来たら避けたいと思うのが

一般的な考えです。他の市町村より良いことはどんどん受け入れ、悪いものは避けてい

きたいと思いません。そのため、

今年には次のような「おもてなし」であれば良いと考えております。

おいしい食べ物がいっぱいの農業の町

もつともだと納得の学力向上の町

ときどきな運動推進でスポーツの町

ながいきの基本は健診率向上で健康長寿の町

しあわせを感じる福祉の町

議会も町と一緒にあって町民の皆さんが「おもてなし」

を実感できるように努力していきたいと思えます。

コメ、リング、ブドウ等、

当町の主要農作物が豊作でかつ高値で取引され、生産資材



費が安価というのが農家の方々には理想的です。そうなることによって、農家の方々の生活が豊かになり、そして地域が、町全体が豊かになります。

豊かさを実感出来る町づくりが求められています。豊かさを感じ、住みやすさを感じ、生きがいを感じられる町のために議会が果たす役割が大きくなっています。

地方分権が進む中、今まで経験したことのない大きな改革の時期に直面しております。市町村の真価が問われる時代になり、私たち議員も何が必要か的確に判断し、町と

鶴田町議会議長

出町 豊

の十分な意思疎通を図りながら、その責務を果たし、住みよい町づくりのため努力してまいります。

政と議会と町民が一体となった町づくりを進めたいと思います。

終わりに、本年も町民の皆さまが健やかで幸多い年でありますように、あわせて大きな事故や事件、災害などが起きませんことをお祈りいたします。

年の挨拶といたします。

第19回鶴の舞橋開通記念県下短歌大会より

〔生徒の部・自由詠〕

友人と二人で自転車漕いだ夏日の出が見たいと海を目指して

鶴田高校三年 小山内 滉

気合い込め狙いを定め矢を放つ 打ち抜いたのは己の弱さ

鶴田高校三年 荒川 瑠菜

信じよう自分の衆衆 大文実振り向かないで進んでみよう

鶴田高校三年 葛西 愛梨

〔生徒の部・楕〕

どこまでも続く大きな橋のように長生きしてねひいおばあちゃん

鶴田中学校三年 佐藤 綺香

季節過ぎ橋は変わらずそこにあるまわりの景色変わっていても

鶴田高校三年 木津谷 楓

富士見湖にかかる木造 日本一鶴田が誇る鶴の舞橋

鶴田高校三年 尾崎 加奈